

コ ム ラ サ キ

Apatura metis substituta



分類	タテハチョウ科													
形態	前翅長 30～42mm。中型で、裏面の地色は橙褐色、淡色の帯がある。翅表は、地色が茶褐色のものと、黒褐色の2型があり、遺伝型とされる。♂は紫色の金属光沢をもち、♀にはこれがない。黒色型はクロコムラサキの別名があり、分布が限られる。													
分布	北海道(利尻島・奥尻島を含む)、本州(佐渡島・陰岐を含む)、四国、九州(壱岐・対馬を含む)。黒色型は中部東海地方、能登半島、九州南部などに多く、まれに褐色型が優占的な地域でも、記録される。													
出現期	本州の暖地では、年2～3回の発生、5月下旬から 10 月にかけて見られる。寒冷地では年1回、7～8月に羽化する。温暖な地域では、4回目が羽化することもある。													
生態	市街地にも見られ、河川敷などヤナギ類の生えるところに棲む。食樹のまわりを敏速に飛び、地上で吸水したり、ヤナギ類、クヌギなどの樹液を吸う。また、獣糞にも集まる。訪花性は弱い。													
食樹	ヤナギ科のコゴメヤナギ、シダレヤナギなど、多くのヤナギ類を食べる。													
幼虫 (幼生期)	体長 40mm。緑色で、頭部に一對の突起、胴部に一對の突起をもつ。													
出現時期	(月)	-	-	-	-	5	6	7	8	9	10	-	-	
その他														
参考文献：検索入門 渡辺康之著 チョウ														